

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 8 月 14 日 (2008.8.14)

【公表番号】特表 2003-535962 (P2003-535962A)
 【公表日】平成 15 年 12 月 2 日 (2003.12.2)
 【出願番号】特願 2002-502061 (P2002-502061)
 【国際特許分類】

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

C 0 8 G 81/02 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/37

C 0 8 F 290/06

C 0 8 G 81/02

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 6 月 5 日 (2008.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 つの界面活性剤と、少なくとも 1 つのビルダーと、洗剤若しくは清浄剤に対して、主鎖に対して、(メタ)アクリル酸 - 基本構成ブロック 0 ~ 30 質量%が(無水)マレイン酸 - 基本構成ブロック若しくはフマル酸 - 基本構成ブロック又はその混合物により、かつ(メタ)アクリル酸 - 基本構成ブロック 0 ~ 10 質量%が他の共重合性のエチレン系基本構成ブロックにより置換されていてよい、ポリ(メタ)アクリル酸 - 主鎖、及び側鎖として、250 ~ 10,000 の平均分子量を有し、エステル基を介して主鎖に結合した C₁₋₃₀ - アルキルポリ - C₂₋₄ - アルキレングリコール からなり、その際、ポリマーに対して、主鎖 1 ~ 19 質量%及び側鎖 81 ~ 99 質量%が存在し、かつこの比及び側鎖の平均分子量が、ポリマー中に遊離カルボキシル基が存在するように選択される 少なくとも 1 つのポリマー 0.2 ~ 10 質量%とを含有している洗剤又は清浄剤。

【請求項 2】 ポリマー中に主鎖 5 ~ 15 質量%及び側鎖 85 ~ 95 質量%が存在する、請求項 1 記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項 3】 ポリマー中で側鎖の平均分子量が 500 ~ 2000 である、請求項 1 又は 2 記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項 4】 ポリマー中でポリ(メタ)アクリル酸鎖が、(メタ)アクリル酸 - 基本構成ブロックと(無水)マレイン酸 - 基本構成ブロック 0 ~ 10 質量%とから構成されている、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項 5】 ポリマー中で側鎖として C₁₋₆ - アルキルポリエチレングリコールを使用する、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項 6】 少なくとも 1 つの界面活性剤、少なくとも 1 つのビルダー及び場合により更に常用の内容物を水と混合してスラリーにし、かつ引き続きスラリーを乾燥させることによる固体の洗剤又は清浄剤を製造する方法において、洗剤若しくは清浄剤の固体の内容物に対して、0.2 ~ 10 質量%の存在で、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の少なくとも 1 つのポリマーの混合を実施することを特徴

とする、固体の洗剤又は清浄剤の製造方法。